

# 寄付

- ・トヨタユニテッド静岡様
- ・杉山嘉章様
- ・菊間ナスカファーム菊間様
- ・東海自動車株式会社様
- ・伊東市更生女性会様
- ・有限会社 エイ・アンド・エイ様
- ・東静岡ヤクルト販売株式会社様
- ・株式会社 Daska&Desiree 社員一同様
- ・辻佐知子様
- ・大石誠様
- ・長澤三千代様



# 編集後記

春の日差しも心地よくなり、子どもたちが元気に外で遊ぶ姿や、学校に登校していく姿を見ることが出来、嬉しく思います。昨年度は子どもたちの成長を感じることが出来る1年でした。今年度はどんな成長が見られるのか、どんな1年になるのか楽しみです。日々子どもたちに支えられることも多く、子どもと一緒に成長して行ければと思います。

新たに地域小規模施設あおぼが誕生し新しい環境に移動する子どもや、新学校に通う子どももおり不安なことがたくさんあると思うので、子どもたちが安心して生活できるようにサポートしていきたいと思っています。

保育士 土屋菜織

| 連絡事項 |    |
|------|----|
| 身長   | cm |
| 体重   | kg |

# 川奈臨海学園 基本理念

子どもの最善の利益のため、子どもたち一人ひとりが尊重され、心身ともに健やかに育成され、将来健全な社会の一員として自立できるよう支援を行う

# 交流

- |             |       |
|-------------|-------|
| 読み聞かせボランティア | きらめき様 |
| 木工ボランティア    | 菱田夫妻様 |
| 学習ボランティア    | 紀藤信哉様 |
| 散髪ボランティア    | 野口伏見様 |
|             | 伊石裕司様 |

※現在新型コロナウイルス感染状況拡大により、一部のボランティア活動を制限しております。社会情勢により活動の再開を検討していきたいと考えております

# お知らせ

## 帰省期間

- 5月 2日～5月 7日
- 6月 16日～6月 18日
- 7月 26日～8月 20日

帰省については児童相談所の許可のもと、各御家庭へ連絡しておりますので、宜しく願い致します。尚、予定されている帰省期間は、新型コロナウイルスの状況に応じて変更する可能性がありますので、ご承知おきください。



# 令和5年度 学園だより 春号 第567号

## 若葉の季節に思うこと

「千山添翠色（せんざんすいしょくにそう）」先日お茶のお稽古でかけられていた掛け軸です。山々の緑が、鮮やかに萌渡る初夏の景色を意味した言葉ということです。私は、茶道宗徧流を習い、お稽古へ通うことのできないこともありましたが、細く長く続けています。季節を感じ、お菓子とお茶をいただき、ほっとできる時間は大切だなあと感じています。

さて、令和5年度がスタートしました。子どもたちは進級進学し、新たな気持ちで日々取り組んでいます。川奈臨海学園への新入職の職員も迎え、新任研修の後各ユニットへ配属となります。

## バスケットボール観戦!!

中高生男子ユニットは3月中旬、プロバスケットボールチーム「ベルテックス静岡」より「ゆうぞうのせき」プロジェクトの招待をいただきバスケ観戦に行ってきました。

子どもたちは会場に入ると各チームに送られる声援に少し戸惑いながらも会場の空気を体感しているようでした。試合が始まると周りの声援に合わせて応援し、選手のビッグプレーには驚きを露にするような姿が見られました。試合終了後には岡田雄三選手と交流をさせてもらい1人1人にTシャツとサインをいただき喜んでいました。スポーツ観戦という特別な空間で過ごした時間は一生の思い出になったことでしょう。

保育士 加藤幸大



## サントムーンへお出かけ

小中学生女子ユニットは春休みのある日、サントムーンへ遊びに行きました。みんなこの日をとても楽しみにしており、精一杯のおしゃれをして出発しました。サントムーンに到着すると、好きな映画を観たりお買い物をしたりブリクラを撮ったり…。と思い思いに過ごしました。嬉しそうにしている子どもたちを見ていると、とても微笑ましかったです。たくさん遊んだ後の帰り道、注文してあったピザを取りに寄ってから帰りました。学園に着いてからはピザパーティーをしました。「これはちょっと辛い」など、様々な種類のピザの味の違いを楽しんでいました。久しぶりのお出かけ、豪華なピザということもあり、楽しめたようで良かったです。今度はどこへ行こうかな。

保育士 綿貫こころ



編集・発行  
川奈臨海学園

〒414-0044 伊東市川奈 509-7

TEL 0557-45-0509 FAX 0557-45-5169

E-mail [rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp](mailto:rinkai-g@ninus.ocn.ne.jp)

URL <http://kawana7.ec-net.jp>

施設長 竹居昭子



# 新任職員紹介



4月から川奈臨海学園に所属になりました。実家から通えることになり、嬉しさもあります。まだ不慣れな車出勤で、毎日緊張しながら通っています。仕事も毎日緊張の連続ですが、子どもたちに少しでも寄り添っていけるような職員になりたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

保育士 遠藤愛



4月から川奈臨海学園に所属になりました。学生時代に実習生としてお世話になった川奈臨海学園で次は保育士として働けること、とても嬉しく思います。社会人、保育士として1からのスタートとなりますが、明るく笑顔で過ごしていきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

保育士 佐々木留海



この度、川奈臨海学園地域小規模あおばで働かせていただくことになりました。料理や子どもたちとの関わり、変則勤務など、課題や不安もありますが、子どもたちと共に私も成長できるような日々を送りたいです。これからよろしくお願ひ致します。

保育士 小川祐輝



(2)

4月から川奈臨海学園、低学年ユニットに所属になりました。地元が静岡で、初めての1人暮らしと慣れない土地でまだまだ緊張しています。仕事も不慣れな事が多いと思いますが、これから子どもたちと笑顔で過ごしていけたらいいなと思っています。どうぞよろしくお願ひ致します。

保育士 小川唯



4月から川奈臨海学園に所属になりました。学生時代に行ったボランティアや実習を通して児童養護施設で働く事が目標となりました。まだまだ不安や緊張でいっぱいですが、自分らしく子どもたちと関わり成長できるように頑張ります。これからよろしくお願ひ致します。

保育士 高橋桃香



この度、川奈臨海学園あおば所属となりました。以前から人のためになる職に就きたく、福祉の重要性を感じていました。子どもの言動・行動を受容し、背景を理解しながら日々向き合っていけるよう努めたいです。人が相手なので状況が目まぐるしく変わる中ではありますが、私自身も日々学びながら頑張ります。よろしくお願ひ致します。

社会福祉士 加藤優

# 川奈臨海学園 地域小規模児童養護施設開設

## あおば誕生



令和5年4月、川奈臨海学園2つ目の地域小規模児童養護施設「あおば」が伊豆高原駅に近い場所に開設致しました。「あおば」については、この場所で事業をされていた「東海自動車(株)」様が施主となり、「大和建设(株)」様を施工主として完成を見る事ができました。足掛け2年近くにも及んだその時間は、想像力に乏しい私が建物における具体的なイメージを描けないながらも、周りの人達の助言や決断力などにも助けられ、特に昨年8月の地鎮祭を過ぎてからは、「あっという間に」という言葉がぴったりなほどの順調さで落成を迎えました。

「あおば」が建つこの地区は、私自身が生まれ育った場所でもあります。それ故に少しの恥ずかしさとそれ以上の嬉しさが混在する想いの中、これから6名の児童達との生活が始まります。川奈での環境に比べ、人通りも車の往来も賑やかな中での生活は少し心配でもありますが、それ以上にこの家での、新しい環境での生活が、児童達をどのように変えていくのか楽しみでなりません。成長に繋がるたくさんの経験を重ねながら、この場所で伸び伸び楽しく過ごしてもらいたいと思っています。

児童指導員 肥田直矢



小学生2名、高校生4名の計6名の児童があおばで暮らしています。端から見れば一軒家のあおばは外観から地域に馴染み、より家庭に近い環境となっています。新生活に早くも慣れたようで、2週間ほど経った頃には「もうすでに1年くらい住んでいる感覚になっている」と高校生の1人は笑顔で話してくれます。小学生も高校生が遊び相手になってくれることを喜び、いつも誰かと一緒に楽しく過ごしています。写真の1つは「人狼」というゲームで遊んでいる様子です。

生活環境だけでなく学校環境にも変化があります。伊東市内の小学校や高校の統廃合が相次ぎ、転校生や新入生以外の児童も含めてあおばで生活する児童6名全員がこの春、新しい環境で学校生活を送ることとなりました。入学式や登校初日は緊張した様子が見られましたが今は今年度への期待や意気込みを感じます。

新しい環境に慣れていくのをそばで見守り、これからも日々の生活を支えていきたいです。

児童指導員 栗原樹生



(3)